

ステファノ

2011/10/23

シリーズ～弟子道～

第2世代の弟子たち

- 使徒たちにつき、イエス様の弟子として活躍した人たち
 - ステファノ・フィリポ・ルカ・マルコ・バルナバ・パルロ・シラス・ティモテ・プリスキラ・アキュラ……
- 彼らはどのようにイエス様に従い、どのように弟子道を歩んだか
- イエス様から直接学ばなかった彼らの生き様は、「信仰による」師弟の結びつきを教える

総務担当, ステファノ

- 初代教会に持ち上がった問題
 - ギリシャ語を話すやもめが軽んじられた
- 使徒たちが何もかもやっている、宣教が進まない、教会の諸問題に対応するために7人が選ばれた
 - 「“霊”と知恵に満ちた評判の良い人を七人選び」
 - 「信仰と聖霊に満ちている人ステファノと、ほかにフィリポ、プロコロ、ニカノル、ティモン、パルメナ、アンティオキア出身の改宗者ニコラオ」

捕らえられたステファノ

- 傑出した宣教者であったステファノ
 - 「ステファノは恵みと力に満ち、すばらしい不思議な業とするしを民衆の間で行っていた」
 - 「人々がステファノと議論したが、歯が立たなかった」
- 人々はステファノを捕らえ、最高法院に引いて行き、「聖なる場所と律法をけなしている」と偽証した
- ステファノは全く動じず、むしろ「その顔はさながら天使の顔のように見えた」
 - 大祭司が「訴えのとおりか」と尋ねたので、ステファノは口を開いた

ステファノの説教

- アブラハムの召命からソロモンの神殿建築まで、イスラエルの歴史をみごとに振り返った
- 最後に、ユダヤ人たちを痛烈に非難した
 - 「かたくなで、心と耳に割礼を受けていない人たち、あなたがたはいつも聖霊に逆らっています。」
- メシアを殺したのだ、と明言した
 - 「彼らは、正しい方が来られることを預言した人々を殺しました。そして今や、あなたがたがその方を裏切る者、殺す者となった」

ステファノの最期(7:55-60)

ステファノは聖霊に満たされ、天を見つめ、神の栄光と神の右に立っておられるイエスとを見て、「天が開いて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」と言った。人々は大声で叫びながら耳を手でふさぎ、ステファノ目がけて一斉に襲いかかり、都の外に引きずり出して石を投げ始めた。証人たちは、自分の着ている物をサウロという若者の足もとに置いた。

人々が石を投げつけている間、ステファノは主に呼びかけて、「主イエスよ、わたしの霊をお受けください」と言った。それから、ひざまずいて、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と大声で叫んだ。ステファノはこう言って、眠りについた。

ステファノの祈り

- 「天が開いて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」
 - どんな状況でもイエス様を見上げていた
- 「主イエスよ、わたしの霊をお受けください」
 - 帰る場所、受け取って下さる方を持っていた
- ひざまずいて、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と大声で叫んだ
 - 師であるイエス様が十字架上で祈られた祈り
 - 敵を愛し、敵のために祈った

ステファノが残したもの

- パウロは私刑に賛成し、迫害者となった
 - パウロは「ステファノの殺害に賛成していた」
 - 「証人たちは、自分の着ている物をサウロという若者の足もとに置いた」
 - 「サウロは家から家へと押し入って教会を荒らし、男女を問わず引き出して牢に送っていた」
- パウロはステファノの姿から、イエス・キリストを信じることの“すごさ”を感じ、恐れた
- ダマスコでの劇的な回心につながった